

## 被災リスクが高い地域にボランティアからなる 地方レスキュー隊を組織

### キルギス II

キルギス共和国では国土全域で様々な自然災害が潜在的に進行しており、また地方部が貧しいこともあって、自然災害の脅威は極めて深刻です。たとえば、MSK-64 震度階級でマグニチュード 8～9 クラスの地震活動が観測されるなど、国内では地震活動が絶えず継続しています。年間の地震発生件数は 3000 件にもものぼり、そのうち 10～15 件が被害をもたらしています。

またキルギスタンでは、国内のいたるところで泥流と洪水の被害が生じており、3103 本の河川で泥流の発生が危惧されています。程度の差こそあれ、泥流と洪水に悩まされている居住域は 1000 を越え、また国土の 7.5% に当たる 509 の居住域が、大なり小なり地すべりの危険にさらされています。

国内の山岳地帯はいずれも雪崩の被害を受けており、危険地域は主要道路沿いだけでも 772 にのぼります。また地下水面の上昇により、国内 180 以上の居住域で水害の発生が危惧されています。

MES KR によると、災害発生件数は年間およそ 200 件におよび、その数はさらに増えると目されています。年間の被災総額は約 3500 万ドル、被災世帯は約 2000 に達します。

キルギスタンでは 2005 年以降、地域の災害リスク管理能力を強化するために国連開発計画がプロジェクトを進めており、その一環として、とくに自然災害に見舞われやすい地域で試験的に地方レスキュー隊が組織され、トレーニングや装備面での充実がはかられています。



これまでに発足した地方レスキュー隊は 45 を数えます。またプロジェクト実施期間中、その対象地域では以下の活動を行っています。危険評価、災害リスクマップの作成、災害への備えと災害発生時の対応計画の策定、緊急事態発生時に住民に危険を知らせる簡易警報システムの設置、防災プロジェクトの実施。

地方レスキュー隊の発足に伴い、当該地域では防災対策が一層強化されるとともに、災害への備えや災害発生時の対応を周知するための啓発活動が進められています。

一部の地域では、災害発生時に地方レスキュー隊がいち早く被災者の救済に駆け付け、二次災害の回避に貢献するという模範的な活躍を見せています。

—背景

キルギスタンは自然災害の大きな危険性にさらされており、とくに貧しい地方部の状況は深刻である。国の法律には、地方の財源に防災予算を盛り込むとは定められていない。

—目的

とくに被災しやすい地域の災害リスク管理能力を強化する。

—期間

2005年から現在まで

—対策

一部の地域で試験的に以下の活動を実施。災害リスク管理者の資質および能力の強化。ボランティアから成る地方レスキュー隊の設置および装備の充実化。危険評価、災害リスクマップの作成。地域を災害から守るための防災プロジェクトの実施。

—主な成果

3万人以上が災害への備えと災害発生時の対応のトレーニングを受講。また29件の防災プロジェクトが実施された。その結果、784の家屋、4つの学校、1178ヘクタールの耕作地に防災措置が講じられた。

—総予算

データなし

—問い合わせ先

ma@dm.undp.kg

ok@dm.undp.kg

osh@dm.undp.kg